

## A 事 業

### I 日本自転車振興会補助事業

#### 1. アジア太平洋協力意見交換会

アジア太平洋地域との産業協力・経済交流・相互理解の促進を図るため、アジアに関する講演会、セミナー等のほか、会員相互・来日アジア要人との交流会、意見交換会等を開催した。

##### (1) 月例講演会

開催日	テーマ	講師	参加人数
第282回 平成15年4月4日 (金)	「アジアの統合、自由貿易協定、共通通貨機構をめぐって」	近藤 健彦 (立命館アジア太平洋大学 アジアマネジメント学部長・教授)	37
第283回 平成15年4月23日 (水)	「北朝鮮・対米, 就任二ヶ月の盧武鉉大統領の政治理念とノサモ」	李 洪千 (元韓国記者協会編集局次長、民主党大統領候補者演説秘書)	34
特別講演会 平成15年6月11日 (水)	「日本のアイデンティティ」	松本 健一 (評論家・麗澤大学教授)	38
第284回 平成15年9月19日 (金)	「米国の21世紀世界戦略と日本経済」	高橋 靖生 (国際投資経済研究所 所長 一柳アソシエイツ顧問)	22
第285回 平成15年10月8日 (水)	「インドネシアのテロを探る」	大形 利之 (北海道東海大学国際文化学部 助教授)	29
第286回 平成15年11月19日 (水)	「中国、宇宙への野望」	稗田 浩雄 ( (財) 未来工学研究所 技術・国際関係研究センター長)	29
第287回 平成15年11月26日 (水)	「核開発疑惑で危機に瀕するイランの内外情勢」	松永 泰行 (日本大学 国際関係学部助教授)	26
第288回 平成15年12月25日 (木)	「東アジアの経済連携について」	杉田 定大 (経済産業省 通商政策局 アジア大洋州課長)	32
第289回 平成16年2月23日 (月)	「国際企業のIT戦略」	岡本 博之 (日本大学 国際関係学部教授)	33

第290回 平成16年3月1日 (月)	「2004年中国経済の見通しと 人民元の行方」	柯 隆 (富士通総研 経済研究所 主任研究員)	37
第5回時局講演会 平成16年3月16日 (火)	「台湾総統選挙と日本」	劉 進慶 (東京経済大学 名誉教 授)	30

## (2) ACFアジア研究会

### 1. 「アジア経済と中東石油」 座長：唐沢 敬 (東京国際大学 教授/立命館大学 名誉教授)

開催日	テーマ・講師		参加人数
第50回 平成15年5月2日 (金)	「ブッシュの戦争とアメリカ：力・制度・戦略」	玉 本 偉 ( World Policy Institute at New School University (NY) 上席研究員)	37
第51回 平成15年6月27日 (金)	「中東と中東石油」	武石 礼司 (富士通総研経済研究 所 主任研究員)	33
第52回 平成15年7月18日 (金)	「イラク戦争後の日本と中東 ー新たな地平の開拓」	大野 元裕 (中東調査会 客員研 究員 ゼネラルサービス取締役)	30
第53回 平成15年8月1日 (金)	「世界の石油産業・市場の再 編と日本の石油産業」	須藤 繁 (国際開発センター 主 任研究員)	28
第54回 平成15年9月25日 (木)	「中東・中央アジア諸国の経 済開発・民主化と石油の役割」	岩崎 徹也 (信州大学 経済学部 教授)	23
第55回 平成15年10月23日 (木)	「東アジア経済圏の成立に向 けてー望まれる日本の積極的 貢献」	谷口 誠 (早稲田大学 現代中国 研究室長)	32
第56回 平成15年11月28日 (金)	「世界秩序の再編と日本：中 東とアジアをつなぐ政策の研 究」	唐沢 敬 (東京国際大学教授 立 命館大学名誉教授)	28

### 2. 「朝鮮半島を考える」 座長：小牧 輝夫 (国士舘大学 21世紀アジア学部教授)

第57回 平成15年12月19日 (水)	「盧武鉉政権ーその意義と問 題点」	木宮 正史 (東京大学教養学部・ 大学院総合文化研究科助教授)	15
第58回 平成16年1月16日 (金)	「財閥改革から見た韓国経 済」	柳町 功 (慶應義塾大学総合政策 学部助教授)	23
第59回 平成16年2月19日 (木)	「北朝鮮経済の動向と核問題 の行方」	小牧 輝夫 (国士舘大学 21世紀 アジア学部教授)	29

第60回 平成16年3月18日 (木)	「韓国の新世代文化から見た 日韓関係の将来」	土佐 昌樹 (国土館大学 21 世紀 アジア学部教授)	18
---------------------------	---------------------------	--------------------------------	----

(3) アジアビジネス研究会－中東石油編

ACFアジア研究会「アジア経済と中東石油」(座長：唐沢 敬 東京国際大学教授/立命館大学名誉教授)での成果を踏まえ、イラク戦争により一層混迷を深めた日本のエネルギー問題を、日本を代表する中東専門家、エネルギー問題研究者4名による出版を目的とした研究会を開催した。

第1回 2月21日 第2回 3月3日

出席者：唐沢 敬 東京国際大学教授 (座長)、武石 礼司 富士通総研(株) 経済研究所上席主任研究員、大野 元裕 中東調査会客員研究員 (株)ゼネラルサービス取締役、須藤 繁 国際開発センターエネルギー・環境室 主任研究員

(4) 連続講演会

東北アジアの安全保障にとって最大の懸案である北朝鮮問題を、3回にわたり軍事、政治について内外の専門家を招き、講演および意見交換した。

第1回 7月3日 James E. Auer (バンダービルト大学教授)

「北朝鮮の脅威と北東アジアの安全保障問題」(英語講演 通訳付) 参加人数：30名

第2回 7月11日 趙 全勝 (アメリカン大学国際関係学部教授)

「北朝鮮クライシスと関係各国」(英語講演、日本語通訳) 参加人数：31名

第3回 7月22日 神谷 不二 (慶応大学名誉教授)

「三つの幻想：北朝鮮の実像に迫る」 参加人数：30名

(5) 中央アジアセミナー

エネルギー資源をめぐって世界的に注目を集める中央アジア地域の経済、産業、政治状況及びその周辺国との関係等様々な角度から解説するセミナーACF講座「中央アジアを知る」(第21回～第24回)を開催し、全4回、122名が受講した。

座長：高橋 和夫 (国際政治学者/放送大学助教授)

開催日	テーマ	講師
第21回 平成15年6月6日(金)	その後のアフガニスタン情勢 － 現地取材を踏まえて	柴田 和重 (アフガン・ネットワーク幹事)
第22回 平成15年9月18日(木)	コーカサス展望 2003 － グルジアを中心に	前田 弘毅 (日本学術振興会特別研究員)

第23回 平成15年12月5日(金)	中央アジア・南アジアの相互関係と地域紛争 — 歴史的視点も入れて	清水 学 (宇都宮大学 国際学部教授)
第24回 平成16年2月20日(金)	日本—トルコ—中央アジアにおける相互理解の進展 : 経済協力における将来的指針	イブラヒム・オズトゥルク (トルコ共和国 マルマラ大学経済学部開発経済・日本経済助教授)

#### (6) 中央ユーラシア調査会

我が国において調査、研究の遅れている中央ユーラシア地域（朝鮮半島から小アジアにかけて存在する国々及び地域）の政治、経済、産業、文化、歴史等全般について基礎的な調査・研究を行い、各国を専門とするメンバー相互に情報提供し、討議することにより、当該地域に関する認識を深めることを目的とする。構成メンバーは研究者、現地経験者を中心とする専門家40名。

座長：袴田 茂樹（青山学院大学 国際政治経済学部長）

開催日	テーマ	報告者
第28回 平成15年4月24日(木)	『中・ロ国境 4000 キロ』の舞台裏	ゲスト講師 岩下 明裕 (北海道大学 スラブ研究センター 助教授)
第29回 平成15年5月22日(木)	中国の国防政策とアジアの安全保障	茅原 郁生 (拓殖大学 国際開発学部 教授)
第30回 平成15年6月20日(金)	ロシアビジネスの新たな動き  中央アジア出張報告	梅津 哲也 (日本貿易振興会 海外調査部ロシア・CISチームリーダー代理) 田中 哲二 (株)東芝 常勤顧問)
第31回 平成15年7月29日(火)	中国の新体制とその行方 — 21世紀の中国経済	渡辺 利夫 (拓殖大学 国際開発学部長)
第32回 平成15年9月26日(金)	来年の台湾総統選挙について  ロシア・中央アジアを訪問して	澁谷 司 (拓殖大学 海外事情研究所 助教授)  袴田 茂樹 (青山学院 国際政治経済学部長)
第33回 平成15年10月8日(水)	天然ガスをめぐるトルクメニスタンとロシアの関係	岡田 晃枝 (東京大学大学院 総合文化研究科 国際社会科学専攻 国際関係論コース 博士課程)
第34回 平成15年11月21日(金)	中央アジアのエコロジー	ゲスト講師 都留 信也 (早稲田大学 理工学研究センター 客員研究員/元日本大学生物資源科学部総合研究所 教授)

第 35 回 平成 15 年 12 月 19 日(金)	最近のロシアと北朝鮮について — 日本への脅威という視点から	須江 秀司 (防衛庁)
第 36 回 平成 16 年 1 月 23 日(金)	イラク情勢を考える  中国出張報告	高橋和夫 (国際政治学者/放送大学 助教授)  田中哲二 ((株)東芝 常勤顧問/国連大学長 上級顧問)
第 37 回 平成 16 年 2 月 27 日(金)	北朝鮮による日本人拉致の全体像と日本の現状	荒木 和博 (拓殖大学 海外事情研究所 助教授/特定失踪者問題調査会代表)
第 38 回 平成 16 年 3 月 1 日(水)	ロシアの国境政策と中央アジア  中央アジア出張報告	湯浅 剛 (防衛庁 防衛研究所 研究員)  田中哲二 ((株)東芝 常勤顧問/国連大学長 上級顧問)

## 2. アジア太平洋シンポジウムの企画・開催

### (1) ベトナム国際シンポジウム

ベトナム経済の順調な発展を背景に、日越間の経済交流は拡大しているが、ベトナムの外国直接投資・貿易においては中国、米国などの台頭により日本のウエイトは相対的に低下してきている。日本は対アジア外交を有利に展開する上で、日越関係の強化が重要であるとし、「投資環境改善に関する共同イニシアチブ」の立ち上げ、「日越投資協定」の調印が予定されているが、こうした背景により新たな段階を迎えた日越経済関係の展望を提示し、ビジネス拡大、経済発展のため、両国の識者による忌憚のない意見交換を行なった。

- ・開催日：平成16年3月4日(木)

08:30～12:20 クローズドセッション

13:30～17:30 オープンセッション

- ・開催場所：ベトナム ハノイ (ハノイ日航ホテル)
- ・テーマ：ベトナムの競争力強化と日越経済関係の展望
- ・パネリスト：

Dinh Van An (President, CIEM)

Vo Tri Thanh (Director, Dept. for Trade Policy & International Integration Studies, CIEM)

Phan Manh Dung (General Director, Dept. of Legistration, Ministry Planning and Investment (MPI))

Ohan Huu Thang (General Director, Foreign Investment Agency, MPI)

Phan Dang Tuat (President, Institute for Industry's Strategy and

Policy Studies, MPI)

- 酒井 仁司 (野村総合研究所 コンサルタント第2本部  
上席コンサルタント)
- トラン・ヴァン・トゥ (早稲田大学 教授)
- グエン・トリ・ユン ((株) NICD 代表取締役)
- 唐沢 雅幸 (国際協力銀行 ハノイ駐在員事務所 首席駐在員)
- 高木 繁 (経済産業省 アジア大洋州課企画官)
- 山田 康博 (日本貿易振興機構 ハノイ事務所長)
- 豊島 格 (財)アジアクラブ 理事長)

・コーディネーター:

Dinh Hien Minh (Deputy Director, Department for Trade Policy &  
International Integration Studies, CIEM)

江橋 正彦 (明治学院大学 国際学部教授)

・参加者: 150名

(2) バングラデシュ・ビジネス・フォーラム

日本にとってバングラデシュは「貧困」と「洪水」のイメージ以外ほとんどないのが実態である。最近、日本政府レベルでは南アジアに対する戦略的な関心が高まってきているが、政府レベル、民間レベルの関心にはズレがある。バングラデシュの歴史と文化を踏まえた上で、経済発展の阻害要因や日本からの直接投資の成功例などを検討材料として、今後のバングラデシュとの経済交流・援助のあり方などを政策対話研究所の専門家ならびに商工会議所会長を招聘して日本側有識者と意見交換した。

- ・開催日: 平成15年7月30日(水) 10:00~17:30
- ・開催場所: スカイホール マリーン (世界貿易センタービル38階)
- ・テーマ: 21世紀における日本・バングラデシュ経済協力関係
- ・パネリスト:

Yussuf Abdullah Harun (President, Federation of Bangladesh Chamber  
of Commerce and Industry)

Debapriya Bhattacharya (Executive Director, Center for Policy  
Dialogue)

- 里見 駿介 (元・三菱商事(株) ダッカ支店長)
- 下沢 嶽 (元・シャプラニール評議員)
- 中川 訓 (元・丸紅(株) ダッカ支店長)
- 豊島 格 ((財)アジアクラブ 理事長)

・コーディネーター: 絵所 秀紀 (法政大学経済学部 教授)

- ・参加者：20名

(3) バングラデシュ・ビジネス・フォーラム特別講演会

- ・開催日：平成15年7月31日（木）14：00～16：00
- ・開催場所：世界貿易センタークラブ（世界貿易センタービル38階）
- ・テーマ：①バングラデシュ経済発展の阻害要因  
②日本からの直接投資の成功例 など
- ・講師：Yussuf Abdulla Harun（President, Federation Bangladesh Chamber of Commerce and Industry）  
Debapriya Bhattacharya（Executive Director, Center for Policy Dialogue）
- ・コーディネーター：絵所 秀紀（法政大学経済学部 教授）
- ・参加者：35名

(4) スリランカ・ビジネス・フォーラム

スリランカの経済発展を大きく阻んできた要因の第一は民族紛争である。その影響は社会経済、インフラの破壊、難民に対する支出増加といった負担だけでなく、投資意欲、外国直接投資、ツーリズムに対するマイナスの影響を与えてきた。しかし、紛争当事者との和平プロセスの進展により国内経済の循環がよくなり、最大の援助国である日本も積極的な役割をはたすという一歩をふみだした。しかしながら両国の経済貿易関係は ODA 絡みのプロジェクトが中心である。こうした背景をもとに、さらなるビジネス活動の発展のため、両国の経済関係の現状と課題について有識者と意見交換した。

- ・開催日：平成15年12月15日（月）10：00～17：30
- ・開催場所：スカイホール マリーン（世界貿易センタービル38階）
- ・テーマ：21世紀の日本・スリランカ経済協力関係
- ・パネリスト：
  - W.D. Lakshman（Professor, Dept. of Economy, University of Colombo）
  - Chandra Embuldeniya（Director, BAM Group/ Chairman, BIMST- EC Chamber of Commerce and Industry）
  - 中村 尚司（龍谷大学経済学部 教授）
  - 高松 正人（(株) ツーリズム・マーケティング研究所 マーケティング事業部長）
  - 落合 伸一（中川装身具工業(株) 営業本部次長）

- 佐野 幸規 (M&Y コンサルタント 取締役技術部長)
- 上妻 秀朗 (シャープ(株) 取締役海外情報通信営業本部)
- 豊島 格 ((財)アジアクラブ 理事長)
- ・コーディネーター：絵所 秀紀 (法政大学経済学部 教授)
- ・参加者：20名

(5) スリランカ・ビジネス・フォーラム特別講演会

- ・開催日：平成15年12月16日(火) 14:00～16:00
- ・開催場所：世界貿易センタークラブ(世界貿易センタービル38階)
- ・テーマ：①日本とスリランカの経済協力関係の現状と課題  
②スリランカ経済の今後の有望分野 など
- ・講師：

W.D. Lakshman (Professor, Dept. of Economy, University of Colombo)

Chandra Embuldeniya (Director, BAM Group/ Chairman, BIMST- EC Chamber of Commerce and Industry)

- ・コーディネーター：絵所 秀紀 (法政大学経済学部 教授)
- ・参加者：37名

### 3. 情報収集提供事業

アジア太平洋地域の経済・産業・社会・文化等に関する情報を収集し広く提供した。

(1) アジアクラブマンスリーの発行

アジア各国の経済・産業、ビジネス情報の他、映画・音楽・料理等の文化情報やイベントの紹介などアジアを多方面から紹介する月報『アジアクラブ・マンスリー』(The Asian Club Monthly)を71～82号まで発行し、会員および関係者、国公立図書館のほか、全国の交流団体等を通じ広く一般に配布した。

71号	原油の輸入依存度が高まる中国／アジアの負け組みにならないための企業のイノベーション戦略について考える／アジアの女性アーティスト／アジア料理 他
72号	減速を余儀なくされる東アジア経済／アジアにおける日本製造業の課題 アジア音楽「ウィニーコック」のアルバム シネマ『二重スパイ』 他
73号	韓国の景気回復の鍵を握る民間消費 / 中国企業の知的財産戦略～人材育成の観点から～ モンゴルの女性アーティスト / アジア音楽 『あなたに会いに行こう』 他
74号	インドのソフトウェアアウトソーシングを考える／急増する中国の流動労働力 アジア定点観測／『風土と交流が育てた来たモンスーンアジアの文化』 他
75号	北朝鮮問題において重要性増す中国の役割／アジア Reviews／中国の女性アーティストリン・ティエンミャオ アジアのかたち～Interviews 中国 No.1 王雪青の仕事 他



76号	中国から見た米国との貿易関係／アジア Reviews /特別寄稿『米国のFTA戦略』 Disc Around The Asia『この愛を世界に』／アジアのかたちインド No.1
77号	加熱する中国の不動産市場／講座 日韓ブロードバンド比較／アジア Reviews 韓国の画家たち No.2 パク・ソポ／アジアのかたち～中国 No.2 他
78号	経済関係の強化を図る ASEAN／アジア Reviews／バンングラデシュビジネスフォーラム報告 ／韓国の画家たち キム・ホンジュ／シネマ『MUSA 武士』 他
79号	2003 年のアジアと 2004 年のアジア経済展望～前年を上回る成長率となる 2004 年のアジア 経済／中国における M&A 戦略の展開と実際／シネマ『2003 年、2004 年のアジア映画』 他
80号	アジア諸国の為替制度と域内政策協調／特別寄稿『中国の大学改革と人材育成』 Disc Around The Asia／アジアのかたち～インド No.3 他
81号	海外と経済連携を強める ASEAN／アジア Reviews／アジアのかたち～中国 No.4 / シネマ『わが故郷の歌』／アジアの祭「インド／ホーリー」 他
82号	動き始めた中国の「東北振興」／特別寄稿『フィリピンの大統領選と中華系財閥』／シネ マ「中国映画の全貌 2004」／アジアのかたち～インド No.4 他

## (2) アジア人材情報の収集・提供

アジアの次世代をになうであろう各界の中堅企業家、政治家、学者、文化人等の情報を収集した。今まで情報収集した国は下記のとおり。

インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、カンボジア、中国  
ミャンマー、インド、ベトナム

本年度はカンボジア、フィリピンを除く 8 カ国 の更新・追加を行った。情報は総計  
で約 1 6 0 0 名となった。これらの情報はホームページ上でアジア Who's Who とし  
て広く一般に情報提供した。

## II ロシア東欧貿易会受託事業

### 1. アジアラウンドテーブルの開催

アジアの経済人、学者等各界の有識者を一堂に集め、相互に国境を越えた討議を行な  
う場を設け、アジアの調和ある発展の方向を探る目的で、第 30 回アジアラウンドテ  
ーブルを高知県と共催で、四国経済産業局、高知エコデザイン協議会の後援、日本貿  
易振興機構の協力を得て開催した。

<概要>

21 世紀における大きな課題は地球環境問題である。だれもが地球の将来に危惧を抱  
くようになっており、いまや環境に配慮しない経済・産業活動は社会から受け入れら  
れない時代になりつつある。アジア地域においても急激な経済発展により、環境の悪  
化が認識され環境保全の重要性が注目されているが、わが国のアジア諸国への環境分  
野における経済的・技術的協力支援は未だ十分ではなく、協力のあり方、方法論を確  
立することが求められている。今回は清流四万十川を有し、全国一森林が多いことか

ら環境問題に関心が高い高知県と共催で、アジアからの専門家、県内で環境問題に取り組んでいる関係者が一堂に会し、環境保全の取り組みの現状、環境ビジネスの創出と可能性、アジアとの連携の可能性などについて報告・討議を行なった。

- ・開催日：平成16年3月15日（月） 13：00～17：30
- ・開催場所：高知県 高知新阪急ホテル 花の間
- ・テーマ：アジアにおける環境ビジネスの現在（いま）・未来
- ・パネリスト
  - 中国：達 良俊 （華東師範大学 副教授）
  - タイ：Kasemsri Homchean （Director, Map Ta Phut Industrial Estate Office）
  - マレーシア：Zainal Abidin Mohd Yusof  
（General Manager, Bioprocess & Chemical Technology Centre, Environmental & Energy Technology Centre, SIRIM BHD）
  - 起塚 昌明 （高知県商工労働部 部長）
  - 北添 英矩 （高知県商工労働部 副部長）
  - 西山 彰一 （高知エコデザイン協議会 会長）
- ・コーディネーター：安藤 眞 （エコビジネスネットワーク 代表）
- ・参加者：120名

### Ⅲ 機械工業等技術研修生交流事業

（社）日本機械工業連合会から事業を受託し、市民レベルでの友好親善と相互理解を深めるため、研修で日本に滞在するアジア等からの技術研修生等を日本の家庭に招くためのホームビジット斡旋事業を次のとおり実施した。

研修生は、3人1組で日本の家族と昼食もしくは夕食を共にし、数時間歓談し日本に対する理解を深めた。

参加した研修生：38名 受け入れ家庭：10家庭

なお、平成16年3月現在登録済みのホストファミリーは東京80家庭、

## Ⅳ 一般事業

### 1. アジア食文化紹介講座

アジア各国の食文化、生活模様などを在日大使館や専門家等の協力を得て解説し、交流の促進をはかることを目的にあじあさろん クッキングクラスを開催し、全4回、

145名が受講した。

開催日	国名	講師
第1回 平成15年5月31日(土)	中国 上海家庭料理	謝 敏琪 (薬膳アドバイザー) 袁 惠玲 (龍龍養膳粥店オーナー)
第2回 平成15年7月12日(土)	トルコ料理 (日本におけるトルコ年記念)	ジャーナン・ウナル Ms. Canan Unal (トルコ共和国大使館 三等書記官) 通訳 大曲 祐子氏 (日本・トルコ協会事務局次長)
第3回 平成15年9月6日(土)	インド料理	レヌ・アロラ (アロラ・インド料理学院 院長)
第4回 平成16年1月17日(土)	カンボジア料理	ユンリー・カクダ (カンボジア料理研究家)

## 2. アジア文化紹介講座

アジア各国で重要な産業として期待を集める映画産業について、その背景となる社会、経済状況を 専門家が解説する特別講座を開催し、20名が受講した。

平成16年3月13日(土)

講師：市山 尚三 (映画プロデューサー／兵庫大学 非常勤講師)

／TOKYO FILMeX ディレクター／ヴェネチア映画祭国際審査員)

## 3. ナマステ・インディアの開催

インド理解と交流促進のために、インド民族舞踊、音楽、映画上映、講演会などを始めとする各種イベントを組み入れた「ナマステ・インディア」を開催した。

- ・開催日：平成15年10月26日(日)
- ・開催場所：築地本願寺
- ・主催：財団法人アジアクラブ 日印経済委員会 (財)日印協会  
NPO日印国交樹立50周年記念事業を盛り上げる会
- ・協賛：外務省、経済産業省、日本商工会議所、日本貿易振興会、
- ・内容：インド政府観光局・観光コーナー、ブックフェア、インド物産・料理屋  
台、サリー着付教室、インド写真展、松岡環講演会、映画上映
- ・参加者：約5000人

## VI ACFメンバーズ (アジアクラブ友の会)

アジアクラブ活動の一般への活動強化、財団事業の支持基盤の裾野拡大、各種事業へのアウトソーシングの活用等を目的とする『ACFメンバーズ』を平成10年2月に発足させ、会員数は390名に達した。会員参加のセミナー、研究会、イベント等を50余企画・開催し、メンバーの啓蒙に資するとともに、会員相互の交流が活発に行われた。

## B 組 織

### I 理事会の開催

当財団の重要事項を審議、決定するため、会長、理事長および理事をもって構成される理事会を本年度中に次の通り開催した。

#### 第1回理事会（書面表決）

日 時 平成15年5月21日（水）

議 題 1. 評議員の委嘱について

#### 第2回理事会

日 時 平成15年6月20日（金）午後2時～午後3時

議 題 1. 平成15年度収支予算の修正について  
2. 平成15年度「日本自転車振興会補助事業」の実施 について  
3. 平成14年度事業報告・収支決算について

#### 第3回理事会

日 時 平成15年6月20日（金）午後3時45分～午後4時

議 題 1. 会長、理事長、専務理事の互選について

#### 第4回理事会

日 時 平成16年3月24日（水）午後3時～午後4時

議 題 1. 平成16年度事業計画・収支予算について  
2. 平成16年度「日本自転車振興会補助事業事前評価書」について  
3. アジアクラブの今後のあり方について

### II 評議員会の開催

#### 第1回評議員会

日 時 平成15年6月20日（金）午後3時～午後3時45分

議 題 1. 平成14年度事業報告・収支決算について  
2. 役員（理事・監事）の選任について

#### 第2回評議員会

日 時 平成16年3月24日（水）午後2時～午後3時

議 題 1. 平成16年度事業計画・収支予算について  
2. 平成16年度「日本自転車振興会補助事業事前評価書」について  
3. アジアクラブの今後のあり方について

### Ⅲ 維持会員

平成 15 年 3 月 31 日現在 41 社であった維持会員数は、平成 15 年度末には 32 社となった。